資料５

「北海道ＰＣＢ廃棄物処理施設 運転開始後６ヶ月後内部技術評価結果について」

日本環境安全事業株式会社では、ＰＣＢ廃棄物処理事業の円滑な実施のため、ＰＣＢ廃棄物の安全、確実な処理及び事故等の未然防止の観点から、処理施設の健全性及び運転・操業の確実性の確保とこれらの維持向上を図るために定期的に内部技術評価を実施することとしている。

これに基づき、北海道事業所に係る第１回目の内部技術評価を平成２１年２月に実施した結果、操業関係に関する指摘事項として５項目が挙がったが、総じて処理施設が安全かつ確実に運転されていることが確認された。

１． 内部技術評価

添付資料１「内部技術評価実施フロー」

（１） 評価対象事業所及び部署

北海道事業所　運転管理課及び安全対策室

（２） 評価実施日

平成２１年２月２４～２６日

（３） 重点評価項目

内部技術評価は、以下に示す重点評価項目に着目し実施した。使用したチェックリストは既実施している大阪事業所の評価項目を参考にして、また豊田事業所及び東京事業所で発生した事故の発生原因を踏まえた確認事項も考慮して作成した。

1) ＰＣＢ廃棄物処理施設が安全に運転されているか。
2) 引渡性能検査時の性能等が引き続いて発揮されているか。
3) 「JESCO 事業所員の誰が何をやるか」ということが明確になっているか。
4) 運転会社の業務の委託範囲が明確で、そのように動いているか。

（４） 評価項目

内部技術評価は、以下に示す評価項目について実施した。

1) 操業関係
①処理実績、②設備稼働状況、③作業状況、④保全状況、⑤運転管理体制
2) 品質関係
①処理性能、②環境保全性能
3) 安全衛生関係
①作業環境性能、②安全衛生管理体制
4) 教育・訓練関係
5) 地域との協定等の遵守の状況

（５） 評価方法

内部技術評価は、チェックリストを作成のうえ、対象事業所担当者に対するヒアリング及び資料閲覧により実施した。

今回は、処理施設の運転開始後１回目の技術評価であることから、ヒアリングはチェックリスト（全１８８項目）から重点評価項目の観点より選定した１１５項目について、口頭で問い合わせ、説明および回答を求める方法で実施した。

内部技術評価の結果は、以下に示す区分により判定した。

1) 適合事項：設備、作業手順、各種マニュアル類、点検・保守・補修等の基準、処理性能等、運転等の管理体制等に適合している場合
2) 指摘事項：事業所に対して検討を要請する場合
3) 所見：改善のための意見及び特記すべき事項の場合

なお、チェックリストの確認項目のうち、今回ヒアリングの対象としなかった項目については、次回の内部技術評価で確認を行うこととしている。

２．内部技術評価の結果について

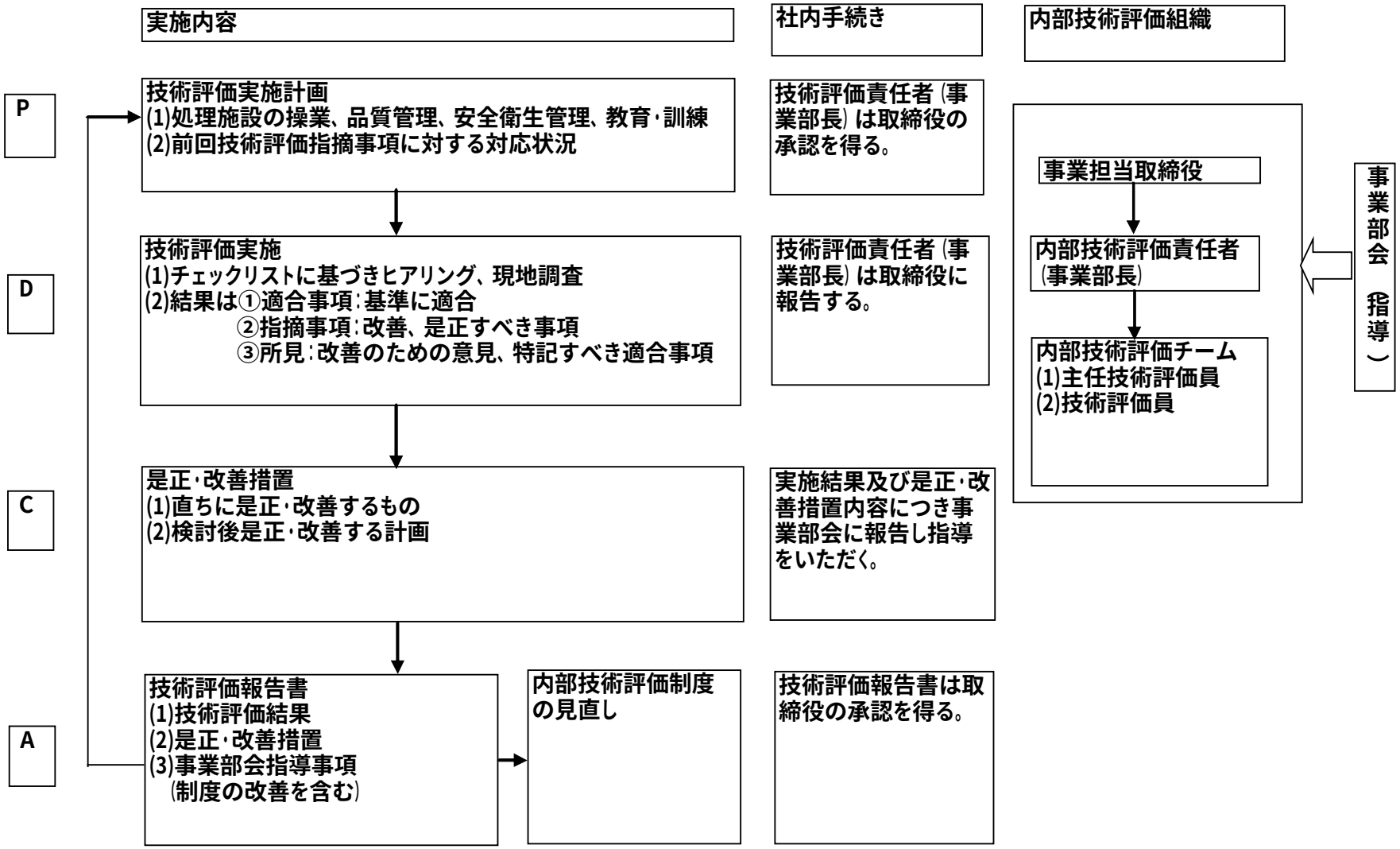
今回の内部技術評価に関する評価結果は、確認項目数１１５項目のうち指摘事項が５項目であった。これらの５項目は、用役等の使用計画と実績の比較の実施と改善の検討について、各工程の現状処理能力の把握と改善計画について、運転管理課員による安全確認・管理について、緊急時対応資料類について、事業所規定の整理と文書管理規定の策定について、であった。いずれも通常の運転では大きな問題にならない範疇の事項であり、今一歩のアクションをとると非常に望ましい状況になると思われる。

内部技術評価結果を「別表」に示す。

「別表」　内部技術評価結果

技術評価項目	主な技術評価結果と指摘事項	指摘事項に対する改善方針
１）操業関係		
①処理実績 【評価項目数１０】 適合事項　　９ 指摘事項　　１	規則に則った処理計画の立案、処理実績の管理を実施している。 ＜指摘事項＞ 用役等の使用計画（操業開始時）と実績の比較を行い、改善を検討すべきである。（特に燃料、電力等）	使用計画と実績の比較と共に原単位の推移が解るようデータ整理を行う。原単位の向上のポイントは稼働率を上げることであり処理量増加対策に重点を置いた取り組みを行う。
②設備稼働状況 【評価項目数１０】 適合事項　　９ 指摘事項　　１	設備は概ね良好に稼動している。 ＜指摘事項＞ 各工程の現状処理能力を把握すべきである。	解体関係：装置毎処理能力を確認し、標準作業工程を作成しそれに基づき能力を設定する。撹拌洗浄、超音波洗浄、及び真空加熱処理については処理対象物によって処理条件を変えてきたので、当初計画との比較を行い現状の能力を算定する。蒸留、液処理設備は設計能力を達成しており、今後実績データを蓄積していく。
③作業状況 【評価項目数１１】 適合事項　１１ 指摘事項　　０	休業が必要な事故等は発生していない。 保護具点検基準を策定し作業従事者の安全衛生対策にて実施され、交換頻度も定期的に点検している。	―
④保全状況 【評価項目数１６】 適合事項　１６ 指摘事項　　０	運転会社による機器・装置の日常点検等を実施しており、記録をしている。	―
⑤運転管理体制 【評価項目数１３】 適合事項　１２ 指摘事項　　１	規定に基づいた運用がなされており、運転会社とのミーティング等により日常管理が出来ている。 ＜指摘事項＞ 運転管理課員は施設の巡回を実施しているが、巡回した結果の記録が無かった。	現場巡回した場合、記録を残すこととする。記録はその日の処理内容に関連づけるために朝会の資料を活用することとする。

２）品質関係		
①処理性能 【評価項目数１５】 適合事項　１５ 検討事項　　０	合格率の長期的な評価管理のために月毎の集計を実施している。 オフラインモニタリングは定期的に実施し操業管理システムのデータとして保管している。	―
②環境保全性能 【評価項目数１１】 適合事項　１１ 指摘事項　　０	オンラインモニタリング測定値は、手順書に基づいて管理され管理目標値を満足している。 負圧管理も適正に管理している。	―
３）安全衛生関係		
①作業環境性能 【評価項目数　８】 適合事項　　８ 指摘事項　　０	作業環境異常は発生していない。 日々汚さないように配慮して業務を遂行している。	―
②安全衛生管理体制 【評価項目数　９】 適合事項　　９ 指摘事項　　０	安全衛生環境活動計画書を作成し、安全パトロール実施、安全衛生協議会での議論などにより、安全衛生管理を適切に推進している。	―
４）教育・訓練関係 【評価項目数　４】 適合事項　　３ 指摘事項　　１	安全衛生環境活動計画書に基づいて安全衛生教育、緊急招集、通報訓練を実施している。 ＜指摘事項＞ 緊急時対応資料類（備品を含む）については、口頭で説明を受けたが資料類のリスト及び保管場所が明確になっていないことから、事業所としてこれらを定めて文書化し、関係者に周知すること。	以下の手順で改善を実施 管理する資料の抽出と管理者の確認。管理者への最新版提出依頼。資料を電子化し、トラブル対応関係フォルダに収納。印刷板をファイルに綴じ、保管場所を所員に周知。管理者に対し、改定の都度、最新版を提出するよう依頼。
５）地域との協定等の遵守状況 【評価項目数　８】 適合事項　　８ 指摘事項　　０	安全確保及び環境保全に関する協定に関する事項は全て守られている。	―
その他(全体共通事項) 指摘事項　　１	＜指摘事項＞ オフィシャルな規程類のファイルが不明確、また、文書管理規定がない。	文書管理要領を制定し文書管理者を定め、オフィシャルな規程類の保管場所を文書管理者から改めて社員に周知を行う。

（添付資料１）

＜内部技術評価フロー＞